



# 会派『うずしお』タイムズ(第15号)R8.2



会派「うずしお」は議員3名による保守系無所属の考えを同じくする者の集まりです。各人が議員として各々の意見を尊重し市民の皆様、および地域の代弁者として発言、行動を取り、自由に時に一致団結して議会活動を務める、その様な会派を目指しています。会派に属していない生田進三議員にも行動を共にして頂いています。2月議会は令和8年1月30日開催、2月17日に閉会しました。

会派うずしお議会報告会	
開催日	令和8年2月28日(土)
時間	午前11時から
場所	旧喫茶マルウメ前

## ◆中野ちかこ議員が市民を提訴

令和7年4月1日のサンテレビ報道を受け、SNSで中野ちかこ氏を批判した市民に対し、中野ちかこ氏は名誉毀損を理由とする訴訟を提起した。(係争中)

## ◆木戸隆一郎議長の対応に疑問

令和7年4月・6月の議員協議会で、木戸隆一郎氏は「警察が告発者を教えることはない」などと説明した。元店長田村氏は洲本警察署から告発事実を確認しており、説明との矛盾が生じている。

## ◆上崎勝規市長への告訴要請

令和6年9月議会で上崎勝規氏に対し元課長らを文書不正で告訴すべき旨議決がなされた。議員らは、再三促したが、2月末現在で文書不正の告訴は行われていない。

## ◆議員辞職勧告決議案の扱い(報道記事)

『木元議員から、小松茂、笹田守、中野睦子、木戸隆一郎の4議員に対する辞職勧告決議案の動議が出され、いずれも本会議で議題とすることは少数賛成で否決された』(2月18日神戸新聞掲載)。

## ◆組合議会欠席

近藤昭文氏は南あわじ市・洲本市立小中学校組合議会の決算議会を欠席した。南あわじ市議から「(組合議会の)監査委員が洲本市視察旅行を優先させた」と指摘する声があった。

## ◆議会広報公聴委員会の運営課題

委員長間森和生氏は中野ちかこ氏の「1億円」発言(議事録未記載)を議会だよりに掲載した。一方、一部議員の原稿には修正要求が複数回なされ、久保議員が同会委員を辞任する事態となった。委員会運営の公平性確保が求められる。

## ◆五色診療所へ新任医師 令和8年4月1日から医師3名体制に

## ◆特養存続へ

令和8年4月1日から社会福祉法人洲本たちばな福祉会が指定管理者として特養(サルビア)の運営を受任。介護職員配置の関係で入所人数は減る見込み。

## ◆一般予算案・条例案の一部反対

会派うずしおは、一般予算案の東京アンテナショップ関連予算および政務活動費増額案(年額18万円)を反対した。ふるさと納税問題で報道された東京アンテナショップを継続する理由がなく、隣接他市が年額15万円の政務活動費を洲本市だけ年18万円へ増額することは許されない。

生田進三です。2月定例会では、ふるさと納税問題に対する「市長の責任」について直接、市長に質問をしました。

(質問)市長は一貫してふるさと納税問題の責任はすべてご自身にあると発言されているが、それは、**市長がふるさと納税問題のすべての責任を取る**との理解でよろしいか？

(答弁)自治体のトップの責任とはその任期中に何かことが起れば、その時のトップが組織としての責任を持つというのが私の持論であります。従いまして、その考え方に沿った形で責任はトップである私にありますという風に申し上げてきたところであります。以上です。

(質問)確認になるが、責任を取られるという意味でよろしいか？

(答弁)先程の答弁のとおりです。

**私は、「すべての責任がある」は「すべての責任を取る」という意味かと質問したのですが、市長からは「責任を取る」というお答えはいただけませんでした。もし、市長が責任を取らないとしたら、誰が責任を取るのでしょうか？(コンプライアンスはどこに?)**

★この4年間、「ふるさと納税問題」に取り組んできましたが、私の意図する目標には程遠く、期待、応援していただいた市民の方々に私自身の非力をお詫びいたします。

#### 久保哲二の議会報告

##### ◆最後の一般質問(16回目)を行った

監査委員によるお節料理の精査作業を質問した。百条委員会は、お節料理に関し廃棄および送付先不明に係る損害を賠償する責任があると最終報告した。市は監査委員(税理士)が損害額確定作業をしていると報告をしながら、1年以上も報告が無く、私は本会議ごとに同じ質問を計5回した。2月議会で市は、監査委員は精査作業を終え報告書が市へ提出されたと答弁。監査委員(税理士)が市へ報告書を提出しながら、議会へは直接報告しない状況に疑問を感じています。

##### ◆監査委員制度の課題

監査委員は市から独立したチェック機関であり、報告先は議会または市民です。特に、「市の重大な不祥事」「財務にかかる損害」「市民の信頼を損なう事案」については、議会と市民へ監査委員が直接報告することが望ましいと考える。議会へ一度も出席がなく、議会に対する説明責任を果たさない状況が続いている。他の自治体では議会に監査委員席を設置している例もある。

##### ◆4年間の議員活動を振り返って

私の4年間の議員活動は、ふるさと納税の一般質問で始まり、終わろうとしている。16回の質問を重ねたが、何一つ解明出来ない結果となった。多数派議員からハラスメント認定、問責決議、懲罰動議などを受けたが、市民の皆様からの支援ハガキや激励の言葉をいただいたからこそ、最後まで続けられたと思っています。本当に有り難う御座いました。

#### 濱野隆(はまのたかし)の議会報告

令和6年9月議会で「辞職し、出直し選挙で市民の信を問うべき」旨提言した。上崎市長は市長続投を表明した。その後、温泉利用券約1億円分の用途不明問題、2021洲本市商品券約1億8千万円分の処理問題など、複数の公金管理に関する疑義が指摘されている。市民による今後の審判が注目される。

## 木元寿夫の議会報告

◆催事		
1月1日	元旦歩こう会	千山先光寺
1月2日	淡路祖霊社 新年祭	伊弉諾神宮
1月11日	洲本市消防団出初式	文化体育館
1月11日	洲本市はたちのつどい	文化体育館
1月16日	五色町商工会新春懇談会	浜千鳥
1月17日	会派うずしお議会報告会	文化体育館
2月26日	南あわじ市洲本市立小中学校組合定例会	南あわじ市
2月27日	五色こども園 竣工式	広石会場

### ◆吉平としたか後援会大集会

大集会に参加した。しばえもん座が満席で、ロビーでモニター視聴した参加者も多数いた。地域経済の回復とふるさと納税問題の再調査と全面公開を主張した。

### ◆議会運営委員会における請願の取扱いについて

#### ①東京アンテナショップ元店長を刑事告発した件

告発の有無について質問したところ、議長木戸氏は「秘密会であり答えられない」旨を回答した。告発事実は公開されるべき情報であり、秘密会の扱いについて疑問が残る。

#### ②市民請願の取扱いについて

議長木戸氏が受理した市民請願について、通常は関係常任委員会へ付託し、審査・質疑を経て採択不採択を決議し、本会議で委員長報告を行い、討論を経て全議員が議決する。しかし今回は通常の手続きとは異なる扱いとなった。請願者から疑問の声があがっており、現在係争中。

#### ③紹介議員への対応について

議会運営委員会において「紹介議員を降りて請願を取り下げてもらいたい」旨の要請があった。請願を受理したのは議長木戸氏であり、請願撤回は請願者へ求めるべきものとする。議会運営委員会では「請願を取り扱わない」旨の提案が賛成多数で決定された。議会運営のあり方について、改善が必要と考える。

### ◆いずみ会(洲本市)存続の危機

いずみ会(事務局市健康増進課)は規約・活動要領の下で活動している。「自らの健康は自らの手で」を合言葉に食生活改善活動を行う。県いずみ会から指導・改善の助言を受け、食育推進アンバサダー(案)を検討していると聞く。市事務局は会の独立性を進めてもらいたい。



### ◆PC データ初期化

おせち料理配送先リスト一覧について質問した。市は「JTB パブリッシング、大松食品(製造会社)、ヤマト運輸(運送会社)、洲本市には配送先リストは残っていない」旨答弁してきた。前課長の懲戒処分直前に、前企画部長が浜辺学副市長へ宛てたメールが実在する。メールには「PC データの初期化」が書かれてある。おせち料理配送先データが保存されていた可能性がある PC を浜辺副市長が元課長へ返却したこととなる。浜辺学副市長は「私は初期化の指示はしていない。」「発言を取消してもらいたい」旨答弁した。(QR 動画43分40秒から参照)

### ◆ハラスメント条例の運用について

ハラスメント条例に基づく申立てと審査について、以下のような事例があった。

①中野ちかこ議員の申立て⇒審査会で採択され、その後訴訟が提起された

②久保哲二議員の申立て⇒審査会が開催されなかった

③木元寿夫議員の申立て⇒審査会で不採択となった

※ハラスメント条例は申立者への配慮から口外が禁じられている。条例認定後に訴訟が提起された事例があり、条例の運用について検証が必要と考える。私は議会運営委員会で、審査委員を議員以外の外部人材(弁護士や大学教授)で構成すべきと提案したが、「次期の議運で協議する」との回答だった。

### ◆「うずしおタイムズ」の訂正要求について

令和8年1月27日議会運営委員会において、木戸議長からうずしおタイムズの訂正を求められた。マーカーで示した箇所について、2週間以内の回答が求められ訴訟の可能性が示された。

### ◆百条委員会と刑事告訴について

百条委員会は、『PC不正取得』と『虚偽文書作成』について疑義を指摘し、上崎市長に対し刑事告訴を求める議決を行った。今定例会で洲本市は、令和6年12月3日付『PC不正取得』刑事告訴は不起訴となったと答弁した。上崎市長は『虚偽文書作成』について現在まで刑事告訴を行っていない。温泉券に関する虚偽文書作成の経緯について、百条委員会では様々な疑義が指摘された。虚偽文書作成の適正性について引き続き検証が必要と考える。

### ◆4年間の議会活動を振り返って

この4年間、会派間で議会運営について見解の対立があった。懲罰、ハラスメント認定、問責決議など様々な事案が発生した。

### ◆うずしおタイムズを終えて

4年間、議会ごとに市民のみなさまへ「うずしおタイムズ」を発行してまいりました。「うずしおタイムズ」をご拝読され、貴重なご意見を数々お寄せくださったみなさまへ心より感謝申し上げます。

#### [記事訂正]

うずしおタイムズ13号で表記ミスがありました。公明党幹事長を先田氏に、共産党幹事長を間森氏に訂正しお詫びします。



木元寿夫 76 歳

(会派代表)

教育民生常任委員

洲本実業高校卒業

Toshio.oihst515@icloud.com



久保哲二 69 歳

(会派副代表)

産業建設常任委員

日本獣医畜産大卒業

kb31630g@gmail.com



濱野 隆 62 歳

(会派会計)

総務常任委員

同志社大学院修了

sumoto.senkyo@gmail.com



生田進三 63 歳

(無会派)

産業建設常任委員

京都産業大卒業

ikuta.co@sirius.ocn.ne.jp